

2. (併用住宅用建物)

部分別	種別	補正項目	補正係数の判定			備考
			最高限	標準	最低限	
基礎	布基	延長	1.3← 店内に上り框又はカウンター等のあるもの、通り庭のある関西風の店舗住宅、建坪当 1.9 間	1.0 普通の店舗併用住宅にあつては 建坪当 1.5 間 独立 0.4 個	→0.7 1 階が殆んど店舗で間仕切の極少のもの 建坪当 1.0 間	軟弱地盤で抗地 形を施したもの は最大 1.5 倍ま でを考慮する
		断面	1.15← 地盤上の高さ 1.5 尺前後のもの 2.0 尺×0.5 尺	1.0 地盤上の高さ 1 尺前後のもの 1.5 尺×0.5 尺	→0.85 地盤上の高さ 5 寸未満のもの 1.0 尺×0.5 尺	
	玉礎石	個数	1.3← 柱本数の多いもの即ち間仕切多いか或は外周に 3 尺間に柱のある関西風のもの 建坪当 4 個	1.0 建坪当柱本数 2 本のもの 建坪当 3 個	→0.7 間仕切の少ないもの又は外周柱が 1 間半のもの 建坪当 2 個	
土台		延長	1.3← 間仕切多いもので 建坪当 1.9 間前後のもの	1.0 建坪当 延長 1.5 間	→0.7 間仕切の少ないもので 建坪当 1.1 間前後のもの	
		古材使用の有無		1.0	→0.9 古材を使用したもの	
屋根		勾配及び軒出	1.2← 7 寸以上の勾配で出桁のある軒出大なるもの 建坪当 1.65 面坪	1.0 5 寸勾配の切妻、軒出 2 尺妻軒出 1.5 尺のものでパラベットの無いもの 建坪当 1.4 面坪	→0.9 3 寸勾配の切妻、軒出 2 尺妻軒出 1.5 尺のもの 建坪当 1.26 面坪	
		形式	1.3← マンサードのもの	1.0 同上	→0.9 パラベットある場合のもの	

小 屋 組	面積及び丈	2.0← 角地のようにパラベットの側面にも広く及んでいるもの 延坪当 0.4 面坪	1.0 普通店舗の前面のみにあるもの パラベットの延坪当 0.2 面坪	→0.5 3寸勾配等でパラベットの丈の低いもの 延坪当 1.0 面坪	小屋組は外部より評点できないので総合的にみた講評の程度に比例するものとして判定する
	施工材料の程度	1.3← 高級又は中級講評程度の家屋	1.0 貸家講評程度のもの	→0.8 下級講評程度の家屋	
	古材使用の有無		1.0	→0.9 古材を使用したもの	
柱	本数	1.3← 間仕切多く柱の多いもの店舗部分の比率大なるもの又は規模小なるもの 延坪当 2.6 本	1.0 延坪当 2.0 本	→0.75 間仕切少く店舗部分の比率少ないもの又は規模大なるもの 延坪当 1.5 本	
	柱の長さ	1.2← 店舗部分に 12 尺ものを使用している場合その部分のもの	1.0 10 尺のもの		
	古材使用の有無		1.0	→0.9 古材を使用したもの	
外	普場通仕上の開口率及びパラベットの状況	1.2← パラベットの大きいもの 延坪当 0.75 面坪	1.0 延坪 30 坪、2 階建、切妻 5 寸勾配、側面開口なくパラベットの無い和風店舗併用町家造、延坪当 1.75 面坪	→0.7 角地等で側面にも開口のあるもの 延坪当 1.3 面坪	ファサード部分 ファサード特殊仕上の場合においては外壁標準評点は次式によつてもとめるものとする。 ファサード部分標準評点×1.7 + その他の部分標準評点×6/7 = 外壁平均評点
	ファサード	3.0← パラベットの大きいもの 延坪当 0.75 面坪	1.0 ファサードは延坪 30 坪、2 階建、切妻 5 寸勾配、側面開口なくパラベットの無い和風店舗併用町家造で延坪当 0.25 面坪	→0.9 パラベットなく開口大きいもの 延坪当 0.22 面坪	

壁	特殊仕上	開口率	1.2← 開口率の小なるもの 延坪当 1.8 面坪	1.0 その他の壁面は上記建物の場合で 延坪当 1.5 面坪	→0.8 開口率の大なるもの 延坪当 1.1 面坪	その他の部分
内 壁		規模並に店舗部分比率	1.3← 規模小さく店舗部分小なるもの、店舗内に間仕切の多いもの 延坪当 3.3 面坪	1.0 上記建物の場合 延坪当 2.5 面坪	→0.7 規模大きく店舗部分大なるもの 延坪当 1.8 面坪	
天 井	天井出合方式評点近似値		天井は各室毎の坪数に標準評点を乗じて加算する この場合店舗以外の部分については床の間のある上座敷と附属室の評点により次に示す算式から計算する (a) 洋間のない場合 天井合計評点 = 1/2 (上座敷標準評点 + 附属室標準評点) × 店舗部分以外の延坪 (b) 洋間のある場合 天井合計評点 = 1/2 { 上座敷標準評点 + 1/2 (附属室標準評点) } + 1/2 (洋間標準評点) × 店舗部分以外の延坪			
床	床出合方式評点近似値算		床は各室毎の坪数に標準評点を乗じて加算する この場合店舗以外の部分については、床の間のある上座敷と附属室の評点により次に示す算式から計算する (a) 洋間なき場合 床合計評点 = 1/2 (上座敷標準評点 + 附属標準評点) × 店舗部分以外の延坪 (b) 洋間のある場合 床合計評点 = 1/2 { 上座敷標準評点 + 1/2 (附属室標準評点) } + 1/2 (洋間標準評点) × 店舗部分以外の延坪			
造 作		材料施工の程度	(a) 真壁の場合 (イ) 一般併用住宅造作延坪当評点 = 柱延坪当評点 × 0.5 (ロ) 指鴨居のある併用住宅造作延坪当評点 = 柱延坪当評点 × 0.8 (b) 大壁部分のある場合 造作延坪当評点 = 真壁部分の柱延坪当評点 × 0.5 + 大壁部分の建具延坪当評点 × 0.4			真壁の場合は柱工事費に比例するものとして判定する 店舗部分等が大壁住宅部分が真壁の如く真壁と大壁が混用されている場合

庇	延長	3.0←	1.0	→0.1	
		側面にまで開口があり庇のあるもの 延坪当 0.45 間	延坪 30 坪、2 階建、切妻 5 寸勾配側面開口なくパラベットの無い和風店舗併用町家造で 延坪当 0.15 間	少ないもの 延坪当 0.02 間	
樋	延長	1.4←	1.0	→0.8	
		本屋根及び下屋に別々に樋があり且つ谷の多いもの 延坪当 2.4 間	四周に樋のある普通の併用住宅 延坪当 1.7 間	平面が正方形に近い平家で且つ切妻の平しか樋のないもの 延坪当 1.35 間	
建具	棟本数	1.5←	1.0	→0.5	
		住宅部分(和風客室も含む)の間仕切が多いもの 延坪当 0.9 本	延坪の 25%前後が店舗に当る和風併用住宅 延坪当 0.6 本	間仕切の少ないもの 延坪当 0.3 本	
	障子	1.7←	1.0	→0.5	
		店舗部分並に住宅部分に多く障子を使用しているもの 延坪当 0.46 本	延坪の 25%前後が店舗に当る和風併用住宅 延坪当 0.27 本	洋間の多い家或は縁側の少ないもの 延坪当 0.13 本	
	ガラス戸	1.4←	1.0	→0.5	
雨戸	1.5→	1.0	→0		
板戸	種類別に本数を計算してその評点を乗じた上加算する 参考 3.0← 多いもの 延坪当 0.6 本	上記建物で店舗出入口を除いたガラス戸は 延坪当 0.9 本	和風町家建(側面開口なし)で裏面にのみ用いているもの 延坪当 0.45 本	雨戸の全然ないもの	3 尺×6 尺のものを一本当の標準とする 本数計算
全開面放		間口 2 間、高さ 6 尺、欄間 1.5 尺の普通の全面開放のものについて面坪当評点を示す。この場合の面坪は欄間を入れた面積である	1.0	→0.5	面坪当計算

入口	開戸 シウ ド ヨ イ ウ ン	同		上	
		間口 6 尺、奥行 3 尺、高さ 7.5 尺、腰高 1.5 尺の普通のものの 1 個当評点を示す			
地下室		4 尺×6 尺、深さ 6 尺のピットを標準にした坪当評点を示す。規模が大になれば割安に、小さくなれば割高になるかウエイト小なるため、規模は特に考慮に入れない			坪当計算
冷蔵庫	規模	1.8→	1.0		坪当計算
陳列棚	延長		1.0	→0.7	延長間当計算
			高さ 12 尺、奥行 1.0 尺のものについて延長間当評点を示す	高さ 8 尺のもの	

3. (農漁家用建物)

部分別	種別	補正項目	補正係数の判定			備考
			最高限	標準	最低限	
基	礎	延長	1.5←	1.0	→0.5	布基礎が前面のみにあるもの又は土間周囲のみにあるもの建坪当 0.3 間
		断面	1.15←	1.0		
			建物周囲全部にあるもの大走り 3.0 尺以上のもの建坪当 0.9 間	1.0 建物規模 4 間×8 間、建坪 32 坪程度で土間周囲と前面だけが布基礎のもの建坪当 布 0.6 間 独立 0.5 個		
			標準以外便所その他内部間仕切にも布基礎のあるもの建坪当 0.78 間	1.0 地盤上の高さ 5 寸、巾 5 寸		

礎	玉石	個数	1.25← 主なる間仕切5ヶ所以上あり複雑なもの 建坪当 2.3 個	1.0 建坪当 1.8 個	→0.75 建坪 32坪以下で主要間仕切が3ヶ所以下のもの 建坪当 1.4 個	
		太さ	1.3← 2階率60%以上のもの	1.0 平家		
	杭基礎	本数	1.25← 主なる間仕切5ヶ所以上あり、且つ複雑と認められるもの 建坪当 2.5 本	1.0 長さ1米未満の杭 建坪当 2 本	→0.75 建坪 32坪以下で主要間仕切が3ヶ所以下のもの 建坪当 1.5 本	棟結線の関係で杭の長いのを用いる場合は30%までの増を考慮する
土台		延長	1.8← 主要間仕切5個所以上あり又は周囲に土台をおくもの 建坪当 1.6 間	1.0 建坪当 延長 0.9 間、土間周囲と前面のみ土台を収付けたもの他の部分は石掘規模 4間×8間、建坪 32坪	→0.6 主要間仕切3個所以下又は前面と他の一面のみ土台のあるもの 建坪当 0.5 間	
屋根	草葺以外	勾配		1.0 5寸勾配軒出及ケラバ 1.5 尺のもの 建坪当 1.4 面坪	→0.9 3寸勾配 建坪当 1.24 面坪	
		形状	1.2← 屋根複雑で建坪当 1.6 面坪以上のもの	1.05← 漁村等で風止めに南蠻漆喰を用いたもの	1.0 普通のもの	
		形式	1.6← 出桁造又は一部瓦葺のもの	1.4← 入母屋造のもの	1.0 カネ勾配 軒出 2.0 尺 方形屋根 建坪当 2.2 面坪	
根	葺	棟飾	1.2← 箱棟煙出し造その他複雑な棟飾又は軒付に装飾的技法を施したもの	1.0 棟飾普通のもの	→0.9 棟飾なく単にトタン等で押えたもの	

心	草葺以外	梁間軒出及び勾配	1.2← 梁間4間以上で部材太く或は軒出 2.0 尺以上のもの 建坪当 2.8 面坪	1.0 5寸勾配、梁間3間 軒出 1.5 尺のもの 建坪当 1.4 面坪	→0.8 梁間2間以下又は3寸勾配のもの 建坪当 1.24 面坪	
	屋	草	1.25← 梁間4間以上で部材太く或は中引のあるもの 建坪当 2.8 面坪	1.0 カネ勾配、梁間3間、軒出 2.0 尺のもの 建坪当 2.2 面坪	→0.6 梁間2間以下のものは又はサスと梁だけの簡単な構造のもの 建坪当 1.3 面坪	
		葺	1.6← 土間の梁が3段以上重ねたもの又はカネ勾配以上のもの	1.2← 出桁造のもの	1.0 同上	
柱		本数	1.5← 建坪当 1.9 本程度	1.0 建坪当 1.4 本	→0.7 建坪当 0.9 本程度	註 上物とは桧桐等の柱、無節板目、無節、杉柱、無節程度又は檜樫、中物とは桧桐板目小節杉板目、無節程度、並物とは杉板目小節程度、下物は杉押角程度とする
		使用状況	1.7← 5寸角以上の柱の多いもの	1.0 3.8寸~4.5寸角のもの	→0.7 3.5寸角以下の柱の多いもの	
		柱の長さ	1.2← 12尺もの	1.0 長さ10尺もの		
	古材使用の有無		1.0	→0.5 古材7本以上使用したもの		
	延点坪算出方式	延坪当柱平均坪点は次に示す算式により計算する 柱延坪評点 = (床上部分柱標準評点) × (床上部分面積率) + (土間部分柱標準評点) × (土間部分面積率)				

造作	施工の材料の程度	(a) 客座数のある場合 (イ) 指鴨居と長押のある場合の造作延坪当評点 = 柱延坪当評点 × 0.65 (ロ) 長押のみの場合の造作延坪当評点 = " × 0.5 (b) 客座数のない場合 (イ) 指鴨居のある場合の造作延坪当評点 = " × 0.6 (ロ) 長押のある場合の造作延坪当評点 = " × 0.45 (ハ) 指鴨居と長押共にない場合の造作延坪当評点 = " × 0.4			柱の工事費に比例するものとして判定する
		開口率	1.5 ← 開口部少いもの 延坪当 1.0 面坪以上	1.0 延坪当 0.7 面坪	
壁	二階率	1.7 ← 二階率 50% 以上のもの			1.1 2階建のもので2階率が40% 又は中二階屋根裏利用のもの
		1.2 ← 主要なる間仕切に開口少く 且つ間仕切 5 個以上あるもの 延坪当 1.7 面坪			
内壁	間口仕切及び	延坪当内壁平均評点は次に示す算式により計算する $\text{内壁延坪当平均評点} = (\text{床一部分内壁標準評点}) \times (\text{床一部分面積率}) + (\text{土間部分内壁標準評点}) \times (\text{土間部分面積率})$			
	延坪算出平均式				

天井		天井は各々の標準評点に該当する部分の面積を乗じて加算する 天井合計評点 = 各標準評点 × 該当部分面積			
床		床は各々の標準評点に該当する部分の面積を乗じて加算する 床合計評点 = 各標準評点 × 該当部分面積			
樋	延長	1.6 ← 方形入母屋のように周囲にあるもの 延坪当 0.9 間	1.0 延坪当 0.5 間 建物の前後にあるもの	→ 0.4 前面にのみあるもの 延坪当 0.2 間	
		1.3 ← 多いもの建坪 32 坪で全体として 15 本以上あるもの 延坪当 0.5 本			
建具	襖	1.7 ← 多いもの全体で 28 本以上あるもの 延坪当 0.9 本	1.0 同上の場合全体で 22 本 延坪当 0.7 本	→ 0.5 少ないもの同上の場合全体で 8 本以下のもの 延坪当 0.4 本	
	障子	1.3 ← 延坪 32 坪で 32 本以上のもの 延坪当 1.0 本	1.0 延坪 32 坪で 28 本 延坪当 0.9 本	→ 0.7 延坪 32 坪で 22 本以下のもの 延坪当 0.7 本	
	硝子戸	1.5 → 延坪 32 坪で 24 本以上のもの 延坪当 0.75 本	1.0 延坪 32 坪で 12 本 延坪当 0.4 本	→ 0.8 延坪 32 坪で 8 本以下のもの 延坪当 0.25 本	
	雨戸	種類別に本数を計算してその評点を乗じた上加算する 3 尺 × 6 尺ものを一本とする			
板戸					本数計算

4. (附 属 家)

部 分 別	種 別	補 正 項 目	補 正 係 数 の 判 定			備 考	
			最 高 限	標 準	最 低 限		
基 礎	布 基 礎	延 長	1.1← 間仕切の多いもの 建坪当 1.5 間以上のもの	1.0 延坪 30 坪のもので、地盤上 の高さ 5 寸 巾 5 寸のもの 建坪当布 1.3 間	→0.8 間仕切の少ないもの 土間と板 間の間に布基礎のないもの 建坪当 1.0 間以下		
			玉 石	個 数	1.1← 間仕切の多いもの 建坪当 1.0 個以上		1.0 建坪当 0.9 個
	礎	堀 立	本 数	1.1← 間仕切の多いもの 建坪当 1.0 本以上	1.0 長さ 1 米未満の杭 建坪当 0.9 本		→0.8 間仕切の少ないもの 建坪当 0.7 本以下
				1.1← 間仕切の多いもの 建坪当 3.0 本以上	1.0 建坪当 堀立柱 2.0 本		→0.8 間仕切の少ないもの 建坪当 1.5 本以下
土 台		延 長	1.1← 間仕切の多いもの 建坪当 1.5 間以上	1.0 建坪当延長 1.3 間	→0.7 間仕切の少ないもの又は土台を 欠く部分が多いもの 建坪当 0.9 間以下		
屋	草 葺 以 外	勾 配		1.0 5 寸勾配軒出及びケラバ 1. 5 尺 建坪当 1.4 面坪	→0.9 3 寸勾配 建坪当 1.24 面坪		
		形 状	1.2← 屋根複雑で建坪当 1.6 面坪 以上のもの	1.0 普通のもの			
	草	形 状	1.6←—1.4← 出桁造又は一部瓦葺のもの 入母屋造のもの	1.0 カネ勾配 軒出 2.0 尺 方 形屋根 建坪当 2.2 面坪			

(228)

根	葺	棟 飾	1.2← 箱棟煙出し造 その他複雑 な棟飾又は軒付に装飾的技 法を施したもの	1.0 棟飾 普通のもの	→0.8 棟飾なく単にトタン等で押 えたもの	
小 屋 組	草 葺 以 外	梁 間 軒 出 及 び 勾 配	1.1← 梁間 4 間以上で部材太く又 は軒出 2.0 尺以上のもの 建坪当 1.6 面坪	1.0 5 寸勾配 梁間 3 間 軒出 1.5 尺のもの 建坪当 1.4 面坪	→0.8 梁間 2 間以下又は 3 寸勾配 のもの 建坪当 1.24 面坪	
		草	梁 間	1.25← 梁間 4 間以上で部材大きく 或は中引のあるもの 建坪当 2.75 面坪	1.0 カネ勾配 梁間 3 間 軒出 2 尺のもの 建坪当 2.2 面坪	
	葺	形 式	1.2← 出桁のもの	1.0 同 上		
柱		本 数 及 び 使 用 状 況	1.5← 5 寸角以上の柱の多いもの	1.0 建坪当 1.9 本 3.8 寸~4.5 寸角のもの	→0.5 建坪当 1.0 本以下又は 3.5 寸角以下の柱の多いもの或 は丸太柱の多いもの	
		柱 の 長 さ	1.2← 12 尺 も の	1.0 10 尺 も の		
		古 材 使 用 の 有 無		1.0	→0.5 8 本以上古材使用のもの	
外 壁		開 口 率	1.5← 開口率少ないもの 延坪当 1.2 面坪以上	1.0 延坪当 0.9 面坪	→0.7 開口率多いもの 延坪当 0.5 面坪以下	
		二 階 率	1.7← 二階率 50 %以上のもの	1.1 2 階建のもので 2 階率 40 % 又は中 2 階屋根裏利用の もの		
内 壁		間 仕 切 及 び 開 口 率	1.2← 主要なる間仕切に開口少く 且つ 5 ケ所以上あるもの 延坪当 1.3 面坪	1.0 延坪当 1.1 面坪	→0.8 主要なる間仕切に開口多く 且つ 3 ケ所以下のもの 延坪当 0.9 面坪	

(229)

附 属 家	天井		各々の標準評点に該当する部分の面積を乗じて合計する 天井合計評点=各標準評点×該当部分面積		
	床		各々の標準評点に該当する部分の面積を乗じて合計する 床合計評点=各標準評点×該当部分面積		
	樋	延長	1.6← 方形入母屋のように周囲にあるもの 延坪当 0.65 間	1.0 延坪当 0.4 間 建物の前後のみにあるもの	→0.4 前面のみにあるもの 延坪当 0.05 間
			1.1← 附属部分の小さいもの 延坪当 0.84 本	1.0 規模 4 間×5.5 間の蚕室 延坪当 0.76 本	→0.8 大部分が蚕室の如きもの 延坪当 0.6 本

5. (アパート、龍易旅館、ホテル用建物)

部分 別	種 別	補正項目	補正係数の判定			備 考
			最 高 限	標 準	最 低 限	
基 礎	布 基 礎	延長	1.5←—1.2 建坪当布基礎延長長いもので1階廊下が上間で上間の周囲にも布基礎のあるもの 建坪当 1.35 間	1.0 四周に布基礎の廻る普通のもの 1 階廊下床板張 建坪 50~60 坪のもの 建坪当 布 0.9 間 独立 0.9 個	→0.9 平面が単純な矩形で布基礎の少ないもの 建坪当 0.8 間	軟弱地盤のもので杭打地形をしたものは1.5倍まで考慮する
			1.25← 地盤上の高さ1.5尺以上のもの2.0尺×0.5尺	1.0 地盤上の高さ1.0~0.8尺1.5尺×0.5尺	→0.85 地盤上の高さ0.5尺未満のもの	
		断面				

土 台		延長	1.1← 複雑な平面のもの 建坪当 1.5 間	1.0 建坪 50~60 坪のもの 建坪当 1.4 間	→0.9 単純な平面のもの 建坪当 1.3 間	
		古材使用の有無		1.0	→0.9 古材を使用したもの	
屋 根		勾配		1.0 5 寸勾配 建坪当 1.4 面坪	→0.9 3 寸勾配トタン葺に多い 建坪当 1.25 面坪	
		形式	1.3← マンサード屋根	1.0 切妻方形のもの		
		軒出		1.0 軒出 1.5 尺	→0.9 軒出の殆んどないもの	
小 屋 組		施工材料の程度	1.4← 総合的にみた譜請の程度の高級のもの	1.0 柱 3.5 寸角、杉板目無節程度のもの	→0.7 譜請の程度の粗悪なもの	
		古材使用の有無		1.0	→0.9 古材を使用したもの	
柱		本数	1.4← 小室の多いもの 延坪当 3.2 本	1.0 6 帖間を主とした中廊下式アパート 延坪当 2.3 本	→0.85 大室の多い押入の少ないもの 延坪当 1.9 本	
		古材使用の有無		1.0	→0.9 古材を使用したもの	
外 壁		平面及び壁面の状況及び開口率	1.25← 平面複雑又は開口率の少ないもの赤線地区の建物等でパラベットを有する正面壁面が凹凸多いもの 延坪当 1.44 面坪	1.0 寄棟屋根の普通アパート 延坪当 1.15 面坪	→0.8 寄宿舍風の開口率大きく且つ平面単純なもの 延坪当 0.92 面坪	

(アパート等)

内	壁	間仕切の 多	1.2← 3帖又は4.5帖等の小室の 多いもの、赤線区域のもの 又は洋風のもの 延坪当 3.6 面坪	1.0 建坪 50~60 坪のもの 6帖間を主とした中廊下式 アパート 延坪当 3.0 面坪	→0.7 大室の多いもの 延坪当 2.1 面坪	
		少	内壁坪当平均評点は次の算式により計算する 内壁坪当平均評点 = (居室内壁標準評点) × 0.7 + (廊下内壁標準評点) × 0.3			
天井	平均評点算出方式	天井部分の評点は居室と廊下その他の2部分に分け、その夫々の平均評点を推定し、それに各該当坪数をして加算する。この場合居室と廊下、その他の部分との面積比率は 65 : 35 が標準である。但し、広間の大きいものにあつてはその他の部分の比率は増大する、天井坪当評点は次の算式により計算する。 天井坪当平均評点 = (居室標準評点) × 0.65 + (廊下標準評点) × 0.35				評点上の注意である
床	平均評点算出方式	床部分の評点は、居室と廊下その他の2部分に分け、その夫々の平均評点を推定し、それに各該当坪数を乗じて加算する。この場合居室と廊下その他の部分この面積比率は 65 : 35 が標準である。但し、広間の大きなものにあつてはその他の部分の比率は増大する、床坪当平均評点は次の算式により計算する。 床坪当平均評点 = (居室標準評点) × 0.65 + (廊下標準評点) × 0.35				1. 評点上の注意である 2. 居室外床標準評点は使用材料別面積比により概算する
造作	平均評点算出方式	造作延坪当評点は次の算式により求める (イ) 和風の場合 造作延坪当平均評点 = 延坪当柱評点 × 0.4 (ロ) 洋風の場合 造作延坪当平均評点 = 延坪当床評点 × 0.3 (ハ) 洋間を持つ和風のものの場合 造作延坪当平均評点 = 延坪当床評点 × 0.3 × (洋間面積比率) + 延坪当柱評点 × 0.4 × (その他の面積比率)				
出窓		出窓延長を測りそれに間当り評点を乗ずる				評点上の注意
庇	延長	1.2←	1.0	→0.75	洋間造の窓に庇のないものはこの項除外する	
		寄宿舎等連絡窓の多いもの 延坪当 0.48 間	四角に窓のある普通のアパート 軒出 2.0 尺のもの 延坪当 0.4 間	窓の少ないもの 延坪当 0.3 間		

(232)

建	棟	本数	1.3←	1.0	→0.6	
			一部二階建のもの及び屋根複雑なもの 延坪当 1.05 間	総2階建の普通アパート 延坪当 0.8 間	切妻町家風のもの 延坪当 0.5 間	
障子	本数	1.5←	1.0	→0		
		多いもの 延坪当 0.6 本	アパート、ホテル 延坪当 0.4 本	少ないもの アパート 延坪当 0.3 本 ホテルで洋間のみのもの		
ガラス戸	本数	1.5←	1.0	→0.75	少ないもの 延坪当 0.53 本	
		多いもの 延坪当 1.05 本	簡易旅館、寄宿舎等廊下に 襖のあるもの 延坪当 0.7 本			
板戸	本数	1.7←	1.0	→0.5	アパート、ホテルではこの項除外する	
		多いもの 延坪当 0.5 本	簡易旅館 寄宿舎 延坪当 0.3 本	少ないもの 延坪当 0.15 本		
雨戸	本数	1.3←	1.0	→0.8	アパート、ホテル、簡易旅館共通	
		多いもの 延坪当 1.0 本	アパート 延坪当 0.8 本	少ないもの 延坪当 0.64 本		
玄関戸	本数	1.25←	1.0	→0.7		
		小室の多いもの 延坪当 0.5 本	アパート、ホテル 延坪当 0.4 本	大室の多いもの 延坪当 0.28 本		
雨戸	本数	1.25←	1.0	→0	少ないものは0まで考える	
		多いもの 延坪当 0.06 本	簡易旅館 延坪当 0.04 本			
雨戸	本数	1.4←	1.0	→0	雨戸のないもの	
		開口部広くその全面に雨戸のあるもの 延坪当 0.7 本	居室全部に雨戸のあるもの 延坪当 0.5 本			
玄関戸		巾6尺高さ欄間付7.5尺を標準にした面坪当評点を示す、従つて欄間を入れた面積を測ること				

(233)

遊階 階段		地上12尺、踊場4尺×4尺、巾4尺、長さ9尺、手摺付柱4寸角のものを標準とする	
----------	--	---	--

6. (旅館、料亭用建物)

部分 別	種 別	補正項目	補正係数の判定			備 考
			最 高 限	標 準	最 低 限	
基 礎	布 基	延長	1.5← 四周支閣台所浴室廻等平面の内部にまで布基礎のあるもの 建坪当 布 1.5 間	1.0 二階建て建坪50坪程度の四周に布基礎のあるもの 建坪当 1.0 間 独立 0.6 個	→0.8 四周に独立基礎を混用して布基礎の少ないもの 建坪当 0.8 間	(イ) 軟弱地盤で杭打地盤の場合は1.5倍まで考慮する (ロ) 3階建部分の基礎は1.2倍する (ハ) 傾斜地に建ち基礎高き場合は地盤上の平均高が標準高を1.0尺超える毎に0.5を加算した倍数を乗ずる
		断面	2.0← 地盤上の高さ1.5尺前後のもの 2.0尺×0.5尺	1.0 地盤上の高さ1尺前後のもの 1.5尺×0.5尺	→0.85 地盤上の高さ5寸未満のもの 1.0尺×0.5尺	
土 台		延長	1.25← 間仕切の多いもの 建坪当 1.6 間	1.0 2階建て建坪50坪程度の建物で 建坪当 1.3 間	→0.75 間仕切の少ないもの 建坪当 0.95 間	
屋 根		勾 配		1.0 5寸勾配のもの 建坪当 1.4 面坪	→0.9 3寸勾配のもの 建坪当 1.24 面坪	

(224)

小 屋 組	梁 間	1.05← 7間のもの	1.0 4.5間のもの	→0.95 2.5間のもの	
	勾 配		1.0 5寸勾配	→0.75 3寸勾配	
柱	本 数	1.4← 小室の多いもの 延坪当 2.3 本	1.0 延坪 150坪程度のもの 延坪当 1.5 本	→0.8 大家の多いもの 延坪当 1.2 本	評点上の注意 接客部分(客間、玄關、廊下)と管理部分(調理場、帳場その他)とに分けて柱標準評点をとり面積比率を乗じて加算する
	柱の長さ	1.2← 12尺もの	1.0 10尺もの		
	柱点算 平均出 均方 評点式	柱延坪当評点は次に示す算式により計算する 柱延坪当評点 = (接客部分柱標準評点) × (1 - a) + 管理部分柱標準評点 × a a...管理部分面積率 20% ← 15% ← 10%			
造 作		造作延坪当評点 = 柱延坪当評点 × 0.7		柱の工事費に比例するものとして判定する	
外 壁	平面形式 及び開口率	1.4← 平面複雑且つ大開口のないもの 延坪当 1.3 面坪	1.0 2階建の町中にある普通旅館料亭 延坪当 0.9 面坪	→0.6 海、川、湖畔等にある全面的開放且つ平面単純なもの 延坪当 0.5 面坪	
内 壁	間 仕 切	1.2← 小室の多いもの 延坪当 2.7 面坪	1.0 延坪当 2.3 面坪	→0.7 畳等30帖前後の大広間のあるもの 延坪当 1.6 面坪	評点上の注意 客室、廊下玄關、管理部分の3部分に分け、その平均評点をとり次に示す壁比率を乗じて加算する 客室 40% 廊下玄關 45% 管理部分 15%
	内算 壁出 平均 評点 式	参考 内壁平均評点は次に示す算式により計算する 内壁平均評点 = (客室平均標準評点 × 0.4) + (廊下玄關平均標準評点 × 0.45) + (管理部分平均標準評点 × 0.15)			

(225)

(旅館、料亭)

天井	天井平均評点算出方式	旅館、料亭等の建物にあつては、天井は各室共に趣を異にするため各室毎の該当評点に坪数を乗じて加算することが最も正確であるが、繁雑に過ぎる嫌もあるので天井平均評点は次に示す方式により計算する。 $\text{天井平均評点} = (\text{客室平均標準評点} \times 0.4) + (\text{廊下玄関平均標準評点} \times 0.45) + (\text{管理部分平均標準評点} \times 0.15)$			評点上の注意 客室、廊下玄関、管理部分の3部分に分けてその平均評点は次に示す天井面積比率を乗じて加算する 客室 40% 廊下玄関 45% 管理部分 15%
	床	床平均評点算出方式	旅館料亭等の建物にあつては、床は各室共に趣を異にするため各室毎の該当評点に坪数を乗じて加算することが最も正確であるが、繁雑に過ぎる嫌もあるので床平均評点は次に示す算式により計算する。但し2階床は2,000を加算し、2階大広間の床は2,500を加算する。 $\text{床平均評点} = (\text{客室平均標準評点} \times 0.4) + (\text{廊下玄関平均評点} \times 0.45) + (\text{管理部分標準評点} \times 0.15)$		
庇	延長	1.5←	1.0	→0.5	
		梁間少且つ開口の多いもの 延坪当 0.6 間	2階建旅館料亭では 延坪当 0.4 間	梁間大且つ少いもの 延坪当 0.2 間	
樋	延長	1.5←	1.0	→0.5	
		下屋多きもの屋根複雑なもの 延坪当 2.3 間	2階建の普通旅館料亭等では 延坪当 1.5 間	総2階建屋根単純下屋少いもの 延坪当 0.75 間	
手摺	延長	延長を目測し間当評点を乗じる			間当計算
室内庇		延長を目測し間当を乗じる			延長間当計算

(226)

建具	襖	本数	1.4←	1.0	→0.6	
			間仕切の多いもの 延坪当 0.4 本	普通の旅館料亭では 延坪当 0.3 本	大室の多いもの 延坪当 0.18 本	
	障子		1.5←	1.0	→0.8	
			梁間少く且つ外周開口の大きいもの 延坪当 0.45 本	延坪当 0.3 本	梁間大きく且つ外周開口の 小なるもの 延坪当 0.22 本	
	ガラス		1.2←	1.0	→0.7	
		梁間小さく且つ外周開口の大きいもの 延坪当 0.85 本	延坪当 0.7 本	梁間大きく且つ外周開口の 小なるもの 延坪当 0.5 本		
雨戸		1.5←	1.0	→0		
		梁間小さく且つ外周開口の大きいもの 延坪当 0.45 本	延坪当 0.3 本	雨戸のないもの		
板戸		種類別に本数を計算してその評点を乗じた上加算する 参考 1.5← 1.0 →0 多いもの延坪当 0.15 本 延坪当 0.1 本 ないもの				
地下室		6坪天井高7.5尺小窓付のものを標準にした坪当評点を示す、坪数が小さくなると割高となるが特に考慮せず、床坪当計算する			坪当計算	
冷蔵庫	規模	1.8←	1.0			
		規模小なるもの 6尺×6尺	天井高7.5尺床面積9×12尺内部モルタル仕上外部2面タイル張のものを標準とした坪当評点を示す			

(227)

(註) 旅館料亭でも規模が小なるもの(延50坪未満)は待合で評点し、地方の下級旅館は簡易旅館で評点する。

7. (待合用建物)

部分別	種別	補正項目	補正係数の判定			備考
			最高限	標準	最低限	
基礎	布基礎	延長	1.5← 四周、玄関、台所、浴室廻等平面の内部にまで布基礎のあるもの 建坪当布 1.5間	1.0 2階建て建坪50坪程度の四周に布基礎のあるもの 建坪当布 1.0間 独立0.6個	→0.8 四周に独立基礎を混用して布基礎の少ないもの 建坪当 0.8間	註 (イ)軟弱地盤で杭打地盤の場合は1.5倍まで考慮する (ロ)3階建部分の基礎は1.2倍とする (ハ)傾斜地に建ち基礎高き場合は地盤上の平均高が基準高を1.0尺超える毎に0.5を加算した倍数を乗じる
		断面	2.0← 地盤上の高さ1.5尺前後のもの 2.0尺×0.5尺	1.0 地盤上の高さ1尺前後のもの 1.5尺×0.5尺	→0.85 地盤上の高さ5寸未満のもの 10尺×0.5尺	
土台		延長	1.25← 間仕切の多いもの 建坪当 1.6間	1.0 2階建て建坪50坪程度の建物で 建坪当 1.3間	→0.75 間仕切の少ないもの 建坪当 0.97間	
屋根		勾配		1.0 5寸勾配のもの 建坪当 1.4面坪	→0.9 3寸勾配のもの 建坪当 1.24面坪	
小屋組		梁間	1.05← 5間のもの	1.0 3間のもの		
		勾配		1.0 5寸勾配	→0.75 3寸勾配	
柱		本数	1.2← 小室の多いもの 延坪当 3.1本	1.0 延坪50坪程度のもの 延坪当 2.6本	→0.8 大室の多いもの 延坪当 2.1本	評点上の注意 接客部分(客間、玄関廊下)と管理部分(調理場、帳場その他)とに分けて夫々の柱標準評点をとり面積比率を乗
		柱の長さ	1.2← 12尺もの	1.0 10尺もの		

(228)

柱点出延平方坪似式当値評算		柱延坪当評点は次に示す算式により計算する 柱延坪当評点 = (接客部分柱標準評点) × (1-a) + 管理部分柱標準評点 × a a...管理部分面積比率 多35%←標準25%→少20%	じて加算する	
造作		造作延坪当評点 = 柱延坪当評点 × 0.4	柱の工事費に比例するものとして判定する	
外壁	平面形式及び開口率	1.3← 平面複雑なもの 延坪当 1.8面坪	1.0 建坪25坪前後の総2階建 延坪当 1.4面坪	→0.8 平面単純なもの 延坪当 1.1面坪
	構造		1.0 総2階建	→0.9 平家建
内壁	間仕切	1.2← 小室の多いもの 延坪当 3.6面坪	1.0 延坪50坪前後のもの 延坪当 3.6面坪	→0.7 比較的大室の多いもの 延坪当 2.1面坪
	内壁方式平均評点算	内壁平均評点は次に示す算式により計算する 内壁平均評点 = (客室平均標準評点 × 0.5) + (廊下玄関平均標準評点 × 0.25) + (管理部分平均標準評点 × 0.25)		
天井	天井平均評点算出方式	待合等の建物にあつては、天井は客室共に趣を異にするため各室毎に当該評点に坪数を乗じて加算することが最も正確であるが繁雑に過ぎる嫌もあるので天井平均評点は次に示す算式により計算する。 天井平均評点 = (客室平均標準評点 × 0.5) + (廊下玄関平均標準評点 × 0.25) + (管理部分平均標準評点 × 0.25)		
				評点上の注意 客室、廊下玄関、管理部分の3部分に分けてその平均評点に次に示す天井比率を乗じて加算する 客室 50% 廊下玄関 25% 管理部分 25%

(229)

待
合

床	床平均評点算出方式	待合等の建物にあつては、床は各室毎に趣を異にするため各室毎の該当評点に坪数を乗じて加算することが最も正確であるが繁雑に過ぎる嫌もあるので床平均評点は次に示す算式により計算する、但し2階床は2,200を加算し、2階大広間の床は2,500を加算する 床平均評点 = (客室平均標準評点×0.5) + (廊下支関平均標準評点×0.25) + (管理部分平均標準評点×0.25)		評点上の注意 客室、廊下支関、管理部分の3部分に分け、此の平均評点に次に示す床比率を乗じて加算する
庇	延長	1.3← 開口の多いもの 延坪当 0.45間	1.0 2階建待合 延坪当0.35間	→0.7 開口少ないもの 延坪当 0.25間
樋	延長	1.5← 下屋多きもの屋根複雑のもの 延坪当 2.2間	1.0 2階建普通のもの 延坪当 1.5間	→0.5 総2階建屋根単地下屋少ないもの 延坪当 0.7間
手摺	延長	延長を目測し間当評点を乗じる		間当計算
室内庇	延長	延長を目測し間当評点を乗じる		延長間当計算
建	襖	11.← 各室に押入のあるもの 延坪当 0.49本	1.0 普通の待合 延坪当0.45本	→0.7 比較的大室の多いもの 延坪当 0.31本
	障子	1.7← 開口の大きいもの 延坪当 0.42本	0.1 延坪当 0.25本	→0.4 開口の小なるもの 延坪当 0.10本
	ガラス戸	1.3← 梁間小さく且つ外周開口の大きいもの 延坪当 0.97本	1.0 延坪当 0.75本	→0.9 梁間大きく且外周開口の小なるもの 延坪当 0.65本

(240)

具	雨戸	本数	2.0← 雨戸の多いもの 延坪当 0.6本	1.0 延坪当 0.3本	→0 雨戸のないもの
	板戸	本数	種類別に本数を計算してその評点を乗じた上加算する 参考 2.0←—————1.0—————→0 多いもの 延坪当 0.10本 延坪当 0.05本 ないもの	3尺×6尺のものを一本当の標準とする	
地下室			6坪天井高7.5尺小窓付のものを標準にした坪当評点を示す、坪数が小さくなると割高となるが特に考慮せず床坪当計算とする		坪当計算
冷蔵庫	規模		1.8←—————1.0 規模小なるもの 天井高7.5尺床面積9×12尺内部モルタル仕上外部2面6尺×6尺 タイル仕上張のものを標準とした坪当評点を示す	評当計算	

(註) 待合には関西の貸座敷を含む。

8. (事務所、銀行用建物)

部分別	種別	補正項目	補正係数の判定			備考
			最高限	標準	最低限	
基礎	布	延長	1.3← 規模小さく(建坪20坪未満)間仕切多いもの 建坪当 1.3間	1.0 建坪60坪程度四周並びに出入口、便所、炊事場廻りに布基礎の入つたもの 建坪当 布 1.0間 独立 0.15個	→0.7 規模大(建坪100坪前後)間仕切の少ないもの 建坪当 0.7間	地盤軟弱の場合1.5は倍まで考慮する
			1.2← 客室中廊下等の叩床と板床との境界長いもの	1.0 同上		

(241)

土台	延長	1.9← 地盤上の高さ2尺以上のもの 3.0尺×0.5尺	1.25← 地盤上の高さ1.5尺前後のもの 2.0尺×0.5尺	1.0 地盤上の高さ1.0尺前後のもの 1.5尺×0.5尺	→0.85 地盤上の高さ0.5尺前後のもの 1.0尺×0.5尺		
		1.3← 規模小さく(建坪20坪未満)間仕切多いもの 建坪当 1.6間	1.0 建坪 60坪程度 建坪当 1.2間	→0.7 規模大(建坪100坪前後)間仕切少ないもの 建坪当 0.8間			
屋根	本屋根	1.1← バラベットの無い軒出 1.5尺のもの		1.0 切妻5寸勾配、軒出1尺前面にバラベットのがあるもの 建坪当 1.25面坪	→0.9 3寸勾配のもの 建坪当 1.1面坪	<p>評点上の注意</p> <p>1) 屋根材料和瓦、埴壇瓦、厚型スレートセメント瓦、石綿スレートは5寸勾配、トタン生子版は主として5寸勾配</p> <p>2) モルタルは根は階根のため補正の要なし</p> <p>3) バラベットのがあるものはこれを本根評点に加算する</p> <p>4) 陸屋根で四角バラベットのものは0.4</p>	
		2.5← バラベット高く四開にあるもの 建坪当 0.75面坪	1.0 建坪60坪5寸勾配平面正方形二方にバラベットのがあるもの 建坪当 0.3面坪	→0.3 バラベット低く一面のみにあるもの 建坪当 0.09面坪			
小屋	切妻方形屋根	1.1← 屋根複雑なもの		1.0 切妻方形 5寸勾配	→0.8 3寸勾配		<p>補正上の注意</p> <p>和小屋のものは梁間の大小による変化は考慮しない</p>
		1.4← 7間のもの 1.1← 梁間5間のもの		1.0 3~4間のもの			
			1.0 間隔1間のもの	→0.85 1.5間のもの			
			1.0 3間のもの	→0.8 2間のもの			
組	陸屋根			1.0 1間のもの	→0.85 1.5間のもの		

壁軸組	平面形	1.5← 平面複雑で細長いもの 延坪当 1.1間	1.1 建坪60坪総2階建平面矩形間口奥行の比率1:2のもの外周壁延長延坪当 0.7間	→0.75 平面単純正方形のもの 延坪当 0.53間	<p>1. 評点上の注意</p> <p>外周と間仕切に分けて評点の上加算する</p> <p>2. 大宗の場合で柱が不助の場合は窓巾より7分を減じたものを以て柱の寸法をとる以下大壁の場合同じ</p> <p>3. 吹抜部分は2階坪あるものとして延坪を考慮</p>
		2.0← 間仕切の多いもの延坪当 0.6間	1.0 1階は大室と便所その他の小間仕切、2階は小室のあるもの 延坪当 0.3間	→0.7 間仕切少く1階2階共大室が大半を占めるもの 延坪当 0.2間	
		2.4← 20尺のもの 1.2← 12尺のもの(小(天井高18 壁の高いもの天井高10尺前後)	1.0 (天井高8尺前後)		
		柱間隔	1.0 1間のもの	→0.7 1.5間のもの	
独立柱	柱の長さ	2.0← 24尺のもの 1.6← 15尺のもの 1.2← 12尺のもの	1.0 1階天井高9尺までのもの又は2階は概ね10尺のもの		
		1.1← 10寸角のもの	1.0 8寸角のもの		
外	普通のもの	1.7← 四周にバラベットのがあるもの 延坪当 1.86面坪	1.6← 平面複雑なもの 延坪当 1.76面坪	1.0 建坪60坪総2階建、平面矩形間口奥行の比1:2のもの壁面単純なもの、バラベットの無いもの 延坪当 1.1面坪	<p>評点上の注意</p> <p>1. 銀行等吹抜部分のあるものはそこに2階床があるものとしてこれを加算した延坪を乗ずる</p> <p>2. 普通天井と吹抜天井との中間のものは適宜坪数を考慮する</p>
		1.5← 10%のもの	1.0 20%のもの	→0.5 30%のもの	

(事務所、銀行)

壁	特殊仕上のドも	開口率	1.5← 10%のもの	1.0 20%のもの	→0.5 30%のもの	フアーサードが銀行等の如く柱型又は窓の深いもの等特殊仕上を施したものは別に坪当加算を行う
	内周壁	規模	1.3← 規模小なるもの建坪30坪未満のもの 延坪当 1.4面坪	1.0 建坪 60坪 延坪当 1.1面坪	→0.8 規模大なるもの建坪 100坪程度 延坪当 0.9面坪	1. 外周内壁と間仕切内壁とに分けて評点の上加算する 2. 評点上の注意銀行等吹抜部分のあるものはそこに2階床があるものとしてこれを加算した延坪を乗じる 3. 普通天井と吹抜天井との中間のものは適宜坪数を考慮する
		開口率	1.1← 開口率小なるもの10%	1.0 20%のもの	→0.85 開口率大なるもの30%	
間仕切壁	間仕切	2.0← 間仕切の多いもの 延坪当 1.5面坪	1.0 建坪60坪のもの 延坪当 0.7面坪	→0.5 間仕切少ないもの 延坪当 0.35面坪		
天井	面坪	1.1← 折上天井又は梁型露出天井	1.0 延坪当 1.0面坪			仕上別評点に該当面積を乗じて加算する
床						同上
窓	外周窓	平面形	1.5← 平面複雑なもの 延坪当 0.38面坪	1.0 建坪60坪のもの 延坪当 0.25面坪	→0.75 平面単純なもの正方形 延坪当 0.19面坪	1. 外周窓と間仕切窓とに分けて評点の上加算する 2. 吹抜部分は2階あるものとして延坪を計
		開口率	1.5← 30%のもの	1.0 外周内壁に対する開口率 20%のもの	→0.5 10%のもの	

(244)

間仕切窓	間仕切	2.0← 間仕切多いもの 延坪当 0.26面坪	1.0 上記建物 延坪当 0.13面坪	→0.7 間仕切少ないもの 延坪当 0.9面坪	算する
	開口率	1.5← 30%のもの	1.0 壁面積に対する開口率 20%のもの	→0.7 10%のもの	
室内戸	形式		1.0 3尺×6.5尺の開き戸	→0.7 引違戸	
	高さ		1.0 3尺×6.5尺	→0.8 3尺×5.7尺	
窓格子					面坪を目測の上標準評点を乗じる
出入口		巾 6.5 尺高さ欄間付 8 尺のもの面坪当を標準評点にとる			
樋	延長	1.3← 屋根複雑で樋の多いもの 建坪当 0.55間	1.0 総2階建 建坪 60坪 建坪当 0.42間	→0.7 片流等樋の少ないもの 建坪当 0.29間	
		1.3← 6尺×6尺のもの	1.0 9尺×9尺 天井、床、壁体 高さ10尺 鉄筋コンクリー 壁厚0.7尺 土入のもの	→0.8 12尺×12尺のもの	
金庫	規模	坪当を標準とする			
	金庫扉	3尺×6尺のもの尺平方当を標準とする			
カタウン		高さ 3.3 尺甲板2.0尺厚 1.5 尺長さ 3 間のもの間当を標準とする			延長間当計算

(245)

(註) 此は一般に設けてないがあるものは病院に準ずる。

9. (店舗、百貨店用建物)

部分別	種別	補正項目	補正係数の判定			備考	
			最高限	標準	最低限		
基礎	布基礎	延長	1.44← 平面複雑で 間仕切多く 土間の中に 布基礎の通 るもの 建坪当1.37間	1.26 平面複雑で 間仕切多い もの 建坪当1.2間	1.0 普通の店舗百貨店 建坪当 布 0.95間 独立 0.5個	→0.87 布基礎少ないもの 平面単純にして間仕切少な いもの 建坪当 0.83間	地盤軟弱の場合 は高増で考慮 する
		断面	1.25← 地盤上の高さ1.5尺以上の もの 2.0尺×0.5尺	1.0 地盤上の高さ1.0~0.8尺の もの 1.5×0.5尺	→0.85 地盤の高さ0.5尺未満のもの 1.0尺×0.5尺		
土台	規模	規模	1.1← 規模小なるもの 25坪以下建坪当 1.0間	1.0 規模 47坪前後のもの 建坪当 0.9間	→0.6 規模 大なるもの 250坪以上 延坪当 0.54間		
		構造	1.36← 平面複雑のもの	1.0 普通のもの	→0.65 平面簡単なもの		
屋根	屋根	屋根形状	1.1← 屋根複雑なもの 軒出長いもの 建坪当 1.37面坪	1.0 5寸勾配軒出1.5尺のもの 建坪当 1.25面坪	→0.9 屋根簡単な軒出少ないもの 建坪当 1.1面坪		
		勾配		1.0 同上のもの	→0.9 3寸勾配 建坪当 1.1面坪		
	バラベツ	多 少	2.5← バラベツ多きもの	1.0 5寸勾配2方バラベツ (1:1) 建坪当 0.3面坪	→0.3 バラベツ少きもの		

(246)

小屋	傾斜屋根	屋根形状	1.1← 屋根複雑なもの	1.0 切妻		
		梁間	1.4← 5間のもの	1.0 3~4間のもの	→0.8 2間のもの	
	陸屋根	梁間隔		1.0 1間のもの	→0.85 1.5間のもの	
		梁間		1.0 3間のもの	→0.8 2間のもの	
柱	規模	規模	1.1← 規模小なるもの	1.0 建坪当 0.87本	→0.72 規模大なるもの	
		構造	2.53← 平面複雑にして間仕切の多いもの	1.0 普通のもの	→0.72 平面単純にして間仕切少ないもの	
独立柱	柱高	2.2← 24尺のもの 1.3 15尺のもの	1.0 12尺のもの	→0.85 10尺のもの	本数計算 (註)丸柱の場合は径 寸法を以つて角柱 同様に取扱う	
防火壁	壁高	1.2← 高さの高いもの	1.0 梁間5間高さ3.5間 壁厚5寸防火入口1ヶ	→0.7 高さの低いもの (平家建)	(註)シャッター 及扉は建具に 含む	
外	壁面積	2.01← 平面壁面凹 凸多く軒高 の高いもの 軒高24尺前 後のもの延 坪当2.3面坪	1.16 規模小さく 平面簡単な もの開口部 の小さいもの 延坪当 1.32面坪	1.0 軒高22尺地盤上よりの高さ 20尺のもの 延坪当 1.14面坪	→0.9 規模大きく平面単純にして 開口部分の多いもの 延坪当 1.03面坪	

(247)

（店舗、百貨店）

壁	外算出平均式評点	外壁延坪当評点は程度の良い部分の仕上評点(A)と隣家側に接する部分の仕上評点(B)に分け、所在地の状況により次に示す算式により計算する。 (1) 一方が主要道路に面する場合 外壁延坪当評点 = (A) × $\frac{1}{2}$ + (B) × $\frac{1}{2}$ (2) 二方が主要道路に面する場合 = (A) × $\frac{1}{3}$ + (B) × $\frac{2}{3}$ (3) 三方が主要道路に面する場合 = (A) × $\frac{1}{4}$ + (B) × $\frac{3}{4}$		
内 壁	構造	1.56 ← 平面複雑で間仕切の多いもの 延坪当 2.37面坪	1.0 延坪当 1.52面坪	→0.78 平面単純で間仕切少ないもの 延坪当 1.18面坪
	規模	1.2 ← 規模小なるもの	1.0 建坪 47坪前後のもの	→0.8 規模大なるもの
天井		各室毎の坪数に当該評点を乗じて加算する 天井延坪当評点 = (店舗部分天井評点) × (店舗部分面積率) + (附属室天井評点) × (附属室面積率)		
床		各室毎の坪数に当該評点を乗じて加算する 床延坪当評点 = (店舗部分床評点) × (店舗部分面積率) + (附属室床評点) × (附属室面積率)		
造 段	階高	1.2 ← 高さの高いもの	1.0 階高9尺程度のもの	→0.9 高さの低いもの
	巾	1.5 ← 巾の広いもの	1.0 巾1間のもの	→0.6 巾の狭いもの
作 手 摺	カタウン 形状	1.2 ← 高さの高いもの	1.0 高さ4.0尺 甲板巾1.0尺	→0.8 高さの低いもの
	形状	1.2 ← 高さ高く 手摺子 間隔深いもの	1.0 高さ2.5尺 手摺子間隔1.0尺のもの	→0.8 高さ低く 手摺子 間隔広いもの
				延長間当計
				延長間当計算

(248)

陳列棚	構造	1.2 ← 巾の広く厚さの厚いもの	1.0 巾1.0尺のもの	→0.7 巾の狭いもの	延長間当計算
出窓	構造	1.3 ← 出1.5尺以上のもの	1.0 出1尺のもの		
庇	軒出	3.2 ← 軒出多いもの 建坪当 0.40間	1.0 軒出2.0尺のもの 建坪当 0.13間	→0.6 軒出少ないもの 建坪当 0.07間	
樋	構造	1.56 ← 平面複雑なもの 延坪当 1.17間	1.0 延坪当 0.75間	→0.76 平面単純なもの 建坪当 0.57間	
	規模	1.22 ← 規模大なるもの 建坪 250坪	1.0 建坪47坪前後のもの	→0.7 規模小なるもの 建坪25坪以下	
窓	外周窓	構造	1.5 ← 平面複雑のもの	1.0 延坪当 0.25面坪	→0.75 平面単純のもの
		開口率	1.5 ← 30%のもの	1.0 内壁に対する開口率 20%のもの	→0.5 10%のもの
	間仕切窓	構造	2.0 ← 間仕切多いもの 延坪当 0.26面坪	1.0 延坪当 0.13面坪	→0.7 間仕切少ないもの 延坪当 0.09面坪
		開口率	1.5 ← 30%のもの	1.0 内壁に対する開口率 20%のもの	→0.5 10%のもの

(249)

(店舗、百貨店)

室内戸	形及び高さ	2.7尺×6.5尺の開き戸の一個当り評点であるので、種別に本数を測り評点を乗じて加算する。引違いの戸の場合は0.7倍、内法高5.7尺のものは0.8倍とする。			
窓格子		面坪を目測の上標準評点を乗じる		面坪当計算	
出入口		巾6.5尺欄間付8.0尺のもの面坪当を標準評点にとる。			
ウインド		間口6尺奥行3尺高7.5尺腰1.5尺のもの一個当を標準評点にとる。		個数計算	
地下室	構造	1.1← 高さ高く壁厚の厚いもの	1.0 建坪 10坪高さ8尺 壁厚 6.5寸のもの一坪当	→0.9 高さ低く壁厚の薄いもの	坪当計算
		1.8← 規模小なるもの 6尺×6尺のもの	1.0 天井高7.5尺9尺×12尺 内部モルタル塗外部タイル張		

(250)

10. (劇場、映画館用建物)

部分別	種別	補正項目	補正係数の判定			備考	
			最高限	標準	最低限		
基礎	布基礎	規模	1.2← 規模小なるもの 建坪 75坪以下 建坪当 1.1間	1.0 建坪 90坪程度のもの 建坪当 0.9間	→0.6 規模大なるもの 建坪 180坪以上 建坪当 0.54間		
		断面	1.3← 地盤上の高さ1尺以上	1.0 0.6尺×1.0尺 地盤上の高さ5寸前後のもの	→0.7 地盤上の高さ3.5寸未満のもの		
礎	玉石	個数	1.2← 規模小なるもの 建坪当 1.1間	1.0 建坪 90坪程度のもの 建坪当 0.9間	→0.6 規模大なるもの 建坪当 0.5間		
土台	規模	1.2← 規模小なるもの 建坪 75坪以下 建坪当 0.96間	1.0 建坪 90坪程度のもの 建坪当 0.8間	→0.75 規模大なるもの 建坪 180坪以上 建坪当 0.6間			
屋根	屋根形状	和瓦入母屋 方形のもの	1.4← 1.2← 1.0 5寸勾配の切妻 軒出 2.0尺 側軒 1.5尺 小屋間隔 1間 建坪当 1.47面坪	1.0			
		(イ) 3階建のもの (ロ) 柱間1間半のもの (ハ) 柱間1間で小屋間隔2間のもの	1.1倍 1.2倍 1.05倍				
小屋組	傾斜屋根	屋根形状	1.3← 屋根複雑なもの	1.0 切妻			
		梁間	1.5← 7間以上	1.0 4間～6間のもの			
	陸屋根	梁間隔	1.0 1.5← 1.0	1.0 1間のもの	→0.7 1.5間のもの	→0.6 2.0間のもの	
		梁間隔	1.5← 7間以上のもの	1.0 4間～6間のもの			
梁間隔	1.0 1.5← 1.0	1.0 1間のもの	→0.7 1.5間のもの	→0.6 2.0間のもの			

(251)

柱	本数	1.7← 規模小さく平面複雑のもの 延坪当 1.4本	1.0 延坪当 0.83本	→0.8 規模大きく平面単純のもの 延坪当 0.66本																																																							
		2.2← 18尺以上のもの	1.3← 15尺のもの	1.0 12尺のもの		→0.8 10尺以下のもの																																																					
外壁	軒高	1.8← 3階建以上のもの	1.0 2階建 5寸勾配 正面パラベット軒高より 3~6尺 延坪当 0.95面坪	→0.8 軒高低い 12尺程度のもの	丸柱の場合は直径の大きさに依つて角柱の大きさと同様とする																																																						
		外壁延坪当評点は正面部分の外壁全体に占める割合に応じ次に示す算式により計算する ① 外壁延坪当評点 = 正面部分標準評点 × $\frac{1}{2}$ + 他の部分の標準評点 × $\frac{1}{3}$ ② $\frac{1}{2}$ = $\frac{1}{2}$ × $\frac{1}{2}$ + $\frac{1}{3}$ × $\frac{1}{3}$ ③ $\frac{1}{3}$ = $\frac{1}{3}$ × $\frac{1}{2}$ + $\frac{1}{3}$ × $\frac{1}{3}$																																																									
内壁	構造	1.5← 複雑な構造間仕切の多いもの 延坪当 3.0面坪	1.0 延坪当 2.0面坪	→0.7 構造簡単なもの 延坪当 1.5面坪	内壁については種類多く、腰部分(A)客席部分(B)及その他の部分(C)に大別して構造別に次の如く区分し補正の適正を図ることとする。次表は標準のものについての内訳である A+B+C=1.0																																																						
		<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">構造別</th> <th rowspan="2">共通</th> <th colspan="2">和風造りのもの</th> <th colspan="2">普通二階のもの</th> <th colspan="2">平家造のもの</th> <th colspan="2">中3階を有するもの</th> </tr> <tr> <th>B</th> <th>C</th> <th>B</th> <th>C</th> <th>B</th> <th>C</th> <th>B</th> <th>C</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">内 壁 部分別</td> <td>A</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="3">種 別</td> <td>普通のもの (客席腰6尺 他腰3尺)</td> <td>0.16</td> <td>0.35</td> <td>0.49</td> <td>0.42</td> <td>0.42</td> <td>0.44</td> <td>0.40</td> <td>0.44</td> </tr> <tr> <td>腰が全部6尺のもの</td> <td>0.20</td> <td>0.35</td> <td>0.45</td> <td>0.40</td> <td>0.40</td> <td>0.42</td> <td>0.38</td> <td>0.42</td> </tr> <tr> <td>腰が全部3尺のもの</td> <td>0.13</td> <td>0.37</td> <td>0.50</td> <td>0.40</td> <td>0.47</td> <td>0.46</td> <td>0.41</td> <td>0.44</td> </tr> </tbody> </table>				構造別	共通	和風造りのもの		普通二階のもの		平家造のもの		中3階を有するもの		B	C	B	C	B	C	B	C	内 壁 部分別	A									種 別	普通のもの (客席腰6尺 他腰3尺)	0.16	0.35	0.49	0.42	0.42	0.44	0.40	0.44	腰が全部6尺のもの	0.20	0.35	0.45	0.40	0.40	0.42	0.38	0.42	腰が全部3尺のもの	0.13	0.37	0.50	0.40	0.47	0.46
構造別	共通	和風造りのもの		普通二階のもの				平家造のもの		中3階を有するもの																																																	
		B	C	B	C	B	C	B	C																																																		
内 壁 部分別	A																																																										
	種 別	普通のもの (客席腰6尺 他腰3尺)	0.16	0.35	0.49	0.42	0.42	0.44	0.40	0.44																																																	
		腰が全部6尺のもの	0.20	0.35	0.45	0.40	0.40	0.42	0.38	0.42																																																	
腰が全部3尺のもの		0.13	0.37	0.50	0.40	0.47	0.46	0.41	0.44																																																		

天井	舞台の状況	1.2← 舞台に天井のあるもの	1.0 延坪当 0.9坪	→0.85 舞台の広いもの	天井延坪当評点は次に示す算式により計算する。 (a) 普通映画館の場合 天井延坪当評点 = 客席天井評点 × 0.5 + 廊下その他の天井評点 × 0.5 (b) 他の用途に供する部分多い場合 天井延坪当評点 = 客席天井評点 × 0.35 + 廊下その他の天井評点 × 0.65	
		平出均方評点算				
床	舞台の状況	床延坪当評点は延坪を客席及び客席以外の部分に分け、その比率に応じ次に示す算式により計算する。 (イ) 事務所部分の多い場合 床延坪当評点 = 客席標準評点 × 0.4 + 廊下標準評点 × 0.6 (ロ) 一般標準のもの $\frac{1}{2}$ × 0.5 + $\frac{1}{2}$ × 0.5 (ハ) 客席の多い場合 $\frac{1}{2}$ × 0.6 + $\frac{1}{2}$ × 0.4 (ニ) 映画館の場合 $\frac{1}{2}$ × 0.9 + $\frac{1}{2}$ × 0.1			劇場の場合は0.9倍とする	
		平出均方評点算				
造作	映写室	1.4← 2階に映写室 規模大なるもの	1.2← 規模大なるもの	1.0 3坪のもの 一階にあるもの	→0.7 階高の低い規模小なるもの	箇所計算
		階高				
造作	巾	1.2← 階高の高いもの	1.0 階高9尺程度のもの	→0.9 階高の低いもの	箇所計算	
		巾				
庇	庇出	1.5← 巾の広いもの 巾1.5尺以上	1.0 巾1尺のもの	→0.6 巾の狭いもの 1尺未満		
		庇出				
庇	鼻妻先	5.0← 6.0尺 3.0尺 2.5尺 2.0尺のもの 延坪当 0.25間 0.12間 0.10間 0.075間	1.0 庇出1.5尺 モルタル塗のもの 延坪当 0.05間	→0.9 庇出の少ないもの 1.0尺未満		
		鼻妻先				
樋	規模	1.8← 規模大なるもの 180坪以上 方形のもの	1.1← 規模小なるもの 75坪以下	1.0 規模 90坪程度のもの 延坪当 0.35間		
		延坪当				

建 具	窓	障子	面 坪	1.1← 多いもの 延坪当 0.6 面坪	1.0 延坪当 0.5 面坪	→0.9 少ないもの 延坪当 0.3 面坪	書院風の窓のものは1.2倍とする	
				席	襖	本 数		1.1← 多いもの 延坪当 0.06 本
	映画館	窓	ガラス	面 坪	1.2← 多いもの三階建のもの 延坪当 0.15 面坪	1.0 延坪当 0.10 面坪	→0.9 平家建てで少ないもの 延坪当 0.07 面坪	
					寄席	戸	1.1← 多いもの 延坪当 0.2 面坪	
	映画館	寄席	板	面 坪	1.1← 平家建てで多いもの 延坪当 0.055 面坪	1.0 延坪当 0.05 面坪	→0.8 三階建てで少ないもの 延坪当 0.04 面坪	
					戸	1.05← 多いもの 延坪当 0.13 面坪	1.0 延坪当 0.10 面坪	
	映画館	窓	客席	面 坪	1.1← 多いもの 延坪当 0.04 面坪	1.0 延坪当 0.03 面坪	→0.9 少ないもの 延坪当 0.02 面坪	
					ウインド	面 坪	1.2← 多いもの 延坪当 0.3 面坪	
			正口	面 入	正面入口は面坪当り計算とする。			

11. (キヤバレー、ダンスホール用建物)

部分別	種別	補正項目	補正係数の判定			備考
			最高限	標準	最低限	
基	布	延長	1.07← 店内(ホール)にカウンター及びステージの大きなものあり、平面複雑のもの 建坪当 1.05 間	1.0 普通のキヤバレー及ダンスホール 建坪当布 0.98 間 独立 0.72 個	→0.78 1 階が殆んどホールで間仕切の極小なるもの 建坪当 0.83 間	軟弱地盤で杭地形のものは1.5倍まで考慮する
			礎	断面	1.25← 地盤上の高さ1.5尺以上のもの 2.0尺 × 0.5尺	
礎	玉石	個数	1.16← 平面複雑で間仕切の少ないもの 建坪当 2.0 個	1.0 玉石 建坪当 1.72 個	←0.94 平面単純で間仕切の少ないもの 建坪当 1.6 個	
土台		延長	1.3← 平面複雑のもの 建坪当 1.1 間前後	1.0 建坪当 0.85 間	0.7 平面単純のもの 建坪当 0.6 間	
屋	本屋根	屋根形状	1.1← 屋根複雑な出桁のある軒もの 建坪当 1.38 面坪	1.0 切妻 5 寸勾配 軒出 1.5尺 妻軒出 1.0尺 建坪当 1.25 面坪	→0.9 屋根簡単なもの前面パラベット付で軒出短かきもの 建坪当 1.13 面坪	本屋根部分とパラベット部分とを区別して評点の上加算する
		勾配		1.0	→0.9 3 寸勾配	
根	パラベ	面積	2.5← 角地のようにパラベットの側面にも広く及び多いもの 建坪当 0.7 面坪	1.0 普通建物の5寸勾配2方パラベットのもの 建坪当 0.3 面坪	→0.3 3 寸勾配等でパラベットの少ないもの 建坪当 0.09 面坪	

小 屋 組	傾斜屋根	形 状	1.1← 屋根複雑なもの	1.0	
		梁 間	1.4← 5間のもの	1.0 3~4間のもの	→0.8 2間のもの
		梁 間 隔		1.0 1間のもの	→0.85 1.5間のもの
	陸屋根	梁 間		1.0 3間のもの	→0.8 2間のもの
梁 間 隔			1.0 1間のもの	→0.85 1.5間のもの	
柱	本 数	1.63← 規模小さく平面複雑なもの の間仕切の多いもの 延坪当 1.35本	1.0 延坪当 0.83本	→0.92 規模大きく平面単純なもの の間仕切少くホール部分と附 属室部分比率の少ないもの 延坪当 0.75本	
独立柱	柱 高	2.2←—————1.3← 24尺のもの 15尺のもの	1.0 柱 高 12尺のもの	→0.85 10尺のもの	丸柱の場合は直 径の太さによつ て角柱の太さと 同様とする
外 壁	壁 面 積	1.21← 平面に凸凹のあるもの 延坪当 1.54面坪	1.0 延坪当 1.06面坪	→0.82 平面単純で軒高の低いも の 延坪当 1.03面坪	
		平均出 評方式	外壁標準評点は仕上の程度のない部分(A)、と隣接側に接する部分(B)に区分し、建 物の状況により次の算式により計算する 1. 一方が主要道路に面する場合 外壁延坪当平均評点 = $A \times \frac{1}{2} + B \times \frac{3}{4}$ 2. 二方が 外壁延坪当平均評点 = $A \times \frac{1}{2} + B \times \frac{3}{4}$ 3. 三方が 外壁延坪当平均評点 = $A \times \frac{1}{3} + B \times \frac{2}{3}$		
内 壁	壁 面 積	1.51← 規模小さく平面複雑で間 仕切多いもの 延坪当 2.73面坪	1.0 延坪当 1.81面坪	→0.58 規模が大きく平面単純で 間仕切少ないもの 延坪当 1.05面坪	

天 井	形 状	1.1← ホール部分天井が複雑な もの	1.0		
	平均出 評方式	天井延坪当平均評点は次の算式により計算する 各室毎の坪数に標準評点を乗じて加算する 天井延坪当平均評点 = (ホール部分天井評点 + 附属室天井評点) × $\frac{1}{2}$			
床		各室毎の坪数に標準評点を乗じて加算する 床延坪当平均評点は次の算式により計算する 床延坪当平均評点 = (ホール部分床評点 + 附属室床評点) × $\frac{1}{2}$			
造 作	階 段	階 高	1.2← 階高の高いもの	1.0 階高9尺程度のもの	→0.9 階高低いもの
		巾		1.0 巾 1.0間のもの	→0.6 巾の狭いもの
	カタ ウン	高さ及び巾	1.2← 高さ高く巾の広いもの	1.0 高 1.2米 巾 0.3米	→0.8 高さ低く巾の狭いもの
	手 摺	高さ及び手 摺子間隔	1.2← 高さ高く手摺子間隔の狭い もの	1.0 高さ2.5尺手摺子間隔10尺	→0.8 高さ低く手摺子間隔の広い もの
	ス テジ	腰 高	1.1← 腰高の高いもの	1.0 腰高2.0尺のもの	→0.8 腰高の低いもの
出 窓	構 造	1.3← 出 1.5尺のもの	1.0 出 1.0尺のもの	→0.8 出 1.0尺以下のもの	
庇	延 長	1.6← 多いもの延坪当 0.21間	1.0 延坪当 0.13間	→0.7 少ないもの延坪当 0.07間	
樋	延 長	1.2← 平面複雑なもの延坪当 0.6間	1.0 延坪当 0.5間	→0.6 平面単純なもの延坪当 0.35間	

(キャバレー等)

窓	窓面積	1.5← 規模小さく閉口部多いもの 延坪当 0.23 面坪	1.0 延坪当 0.15 面坪	→0.8 規模大きく閉口部少ないもの 延坪当 0.12 面坪
		種類	2.7尺×6.5尺 開き戸	→0.7 引違戸
室内戸	内法高		同 上	→0.8 高さ5.7尺のもの
出入口		大き 8.0尺×6.5尺 で欄間高 1.5 尺とし面坪当て計算する		
地下室	規模	1.1← 高さ高く壁厚の厚いもの	1.0 建坪 10坪 高さ 8 尺 壁厚 6.5寸	→0.9 高さ低く壁厚の薄いもの

12. (病院用建物)

部分別	種別	補正項目	補正係数の判定			備考
			最高限	標準	最低限	
基礎	布基礎	延長	1.2← 平面複雑なもの又は細長いもの 建坪当 1.1 間	1.0 建坪 100坪 総二階建 間口奥行比 1:4のもの 建坪当 布 0.9 間 独立 0.9 個	→0.9 平面単純短形 1:2のもの 建坪当 0.8 間	軟弱地盤の場合 は 1.5 倍まで考 慮する
		礎礎	1.5← 地盤上の高さ 2 尺以上のもの 3.0尺 × 0.5尺	1.0 地盤上の高さ 1.5 尺程度 のもの 2.0尺 × 0.5尺	→0.7 地盤上の高さ 0.5 尺程度 のもの 1.0尺 × 0.5尺	
土台		延長	1.1← 平面複雑なもの 建坪当 1.5 間	1.0 建坪 100坪 総二階建 建坪当 1.4 間	→0.9 平面単純なもの 建坪当 1.25 間	

(258)

屋根	勾配		1.0 5 寸勾配 軒出 1.5尺 建坪当 1.4 面坪	→0.9 3 寸勾配 トタン葺等	
	形式	1.3← マンサード屋根	1.0 切妻方形のもの		
小屋	梁間	1.05← 5 間 の も の	1.0 3 間 の も の		
	勾配		1.0 5 寸 勾 配	→0.75 3 寸勾配のもの	
組	形式	1.25←-----1.1← マンサード 入母屋の もの	1.0 方 形 切 妻		
壁軸組	間仕切	1.1← 6~4.5 帖等間仕切多い もの 延坪当 1.4 本	1.0 中廊下で 8~6 帖室の多 いもの 延坪当 1.3 本	→0.75 大室の多いもの 延坪当 0.98 本	大壁の場合で柱 径不明の場合は 窓枠巾より 7 分 を減じたものを 以て柱の寸法を とる
	柱の長さ		1.0 12尺もの天井高10尺程度	→0.85 10尺もの天井高8尺程度	
外壁	平面型式及び開口率	1.2← 平面長大又は複雑或は開 口率小なるもの 延坪当 1.1 面坪	1.0 延坪 100坪 2 階建 延坪当 0.9 面坪	→0.5 平面単純開口率大なるも の 延坪当 0.45 面坪	四周にパラベツ トあるものは 1.2 倍とする

(259)

内 壁	間仕切	1.2← 6~4.5帖の小部屋の多いもの 延坪当 2.8面坪	1.0 天井高10尺で8~6帖室の多いもの 延坪当 2.3面坪	→0.8 大室の大きいもの 延坪当 1.8面坪	洋室と和室が混在する場合は夫々平均標準に該当坪数を乗じて加算する
	天井高		1.0	→0.8 低いもの 7尺	
天井床		仕上別に分類し、その標準評点に該当坪数を乗じた上加算する			
階段		玄関広間等に設けられた特殊の階段についてのみ評点し一般のものは考慮する必要がない			
造 作		造作平均評点は次の算式により計算する (イ) 洋風の場合 延坪当造作評点=延坪当床平均評点×0.4 (ロ) 和風の場合 延坪当造作評点=延坪当柱平均評点×0.5 (ハ) 混在する場合 延坪当造作評点=延坪当床平均評点×0.4 × (洋風部分面積比) + 延坪当柱平均評点×0.5 × (和室部分面積比)			
庇	延長	2.0← 多いもの延坪当 0.04間	1.0 延坪当 0.02間	→0.2 少ないもの延坪当 0.004間	
樋	延長	1.3← 多いもの延坪当 1.1間	1.0 建坪 100坪 総二階建 延坪当 0.8間	→0.6 少ないもの延坪当 0.48間	

建 具	ガラス戸	開口率	1.6← 大きいもの 延坪当 0.64面坪	1.0 延坪当 0.4面坪	→0.6 少ないもの 延坪当 0.24面坪	
	板戸	本数	1.2← 小室多く出入口の多いもの 延坪当 0.30本	1.0 洋風のもの 延坪当 0.25本	0.8←→0.3 大室多く出入口 和風のもの 少ないもの 坪当本 延坪当 0.2本 0.08本	
	襖	本数	1.7← 多いもの 坪当 1.0本	1.0 和室部分 坪当 0.6本	←0.4→0 少ないもの 和室のないもの 坪当 0.3本	
	障子	本数	1.7← 多いもの 坪当 0.5本	1.0 和室部分 延坪当 0.3本	←0.5→0 少ないもの 和室のないもの 延坪当 0.15本	
	雨戸	本数	1.7← 多いもの 延坪当 0.5本	1.0 和室部分 延坪当 0.3本	←0.5→0 延坪当 雨戸のないもの 0.15本	
	玄関戸		6尺×7.5尺 (欄間付) のもの面坪を標準とする			面坪当計算
避難階段		地上12尺巾4尺長さ9尺踊場4尺×4尺のものを標準とする			個数当計算	

(註) 医院風の病院はこれに該当しない。一般医院は専用住宅で評点するものとする。

13. (浴場用建物)

部分別	種別	補正項目	補正係数の判定			備考
			最高限	標準	最低限	
基礎	脱衣室	延長	1.1← 規模小なるもの 建坪当 0.9間	1.0 建坪15坪のもの 建坪当布 0.8間	→0.85 規模大なるもの 建坪当 0.68間	浴場にあつては脱衣室、浴室その他(汽施場二階住宅)の各部分毎に分離して判定する
		断面	1.2← 地盤上の高さ1.0尺~2.0尺前後のもの 1.5~2.5尺×0.5尺	1.0 地盤上の高さ5寸前後のもの 1.0尺×0.5尺	→0.8 地盤上の高さ5寸以下のもの	
	浴室	個数	1.2← 規模小なるもの 建坪当 1.5個	1.0 建坪当 15坪のもの 建坪当 1.2個	→0.9 規模大なるもの 建坪当 1.1個	
		延長	1.1← 規模小なるもの 建坪当 0.57間	1.0 建坪 12.5坪のもの 建坪当 0.52間	→0.9 規模大きなるもの 建坪当 0.47間	
	浴室	断面		1.0 地盤上の高さ3.0尺のもの	0.7—0.5—→0.4 地盤上の高さ1.5尺のもの 地盤上の高さ1.0尺のもの 地盤上の高さ5寸のもの	
		個数	1.1← 規模小なるもの 建坪当 1.1個	1.0 建坪 12.5坪のもの 建坪当 1個	→0.9 規模大なるもの 建坪当 0.9個	
	その他	延長	1.1← 規模小なるもの 建坪当 0.66間	1.0 建坪 27坪のもの 建坪当 0.6間	→0.85 規模大なるもの 建坪当 0.5間	
		断面	1.2← 地盤上の高さ1.0尺以上あるもの	1.0 地盤上の高さ5寸のもの	→0.8 地盤上の高さ5寸以下のもの	

(262)

他	玉石	個数	1.1← 規模小なるもの 建坪当 1.3個	1.0 建坪 27坪のもの 建坪当 1.2個	→0.9 規模大なるもの 建坪当 1.1個	
土台		延長	1.1← 規模小なるもの 建坪当 1.0間	1.0 建坪 55坪程度のもの 建坪当 0.9間	→0.92 規模大なるもの 建坪当 0.82間	
屋根	脱衣室	勾配及び軒出	1.1← 勾配が急で5寸以上で軒出1.5尺以上のもの 建坪当 1.4 面坪	1.0 4.5寸勾配軒出1.2尺のもの 建坪当 1.28 面坪	→0.95 勾配3寸以下で軒出1尺未満のもの 建坪当 1.2 面坪	
		勾配及び軒出	1.1← 勾配4.5寸以上 軒出1.5尺以上のもの 建坪当 1.4 面坪	1.0 3寸勾配 軒出1.2尺のもの 建坪当 1.3 面坪	→0.95 勾配3寸以下軒出少きもの 建坪当 1.23 面坪	
	その他	形式		1.0 方形又は入母屋	→0.9 切妻	
小屋根	脱衣室浴室その他	梁間及び桁行	1.3← 梁間6間桁行1間のもの	1.0 梁間5間桁行1間のもの	→0.8 梁間4間桁行1間のもの	
			1.3← 梁間6間桁行1間のもの	1.0 梁間5間桁行1間のもの	→0.8 梁間4間桁行1間のもの	
			1.3← 梁間6間桁行1間のもの	1.0 梁間5間桁行1間のもの	→0.8 梁間4間桁行1間のもの	
柱		本数	1.1← 建坪小なるもの 建坪当 1.3本	1.0 延坪 55坪程度のもの 建坪当 1.2本	→0.9 延坪大なるもの 建坪当 1.1本	

(263)

		二階平面	1.2← 平面複雑なるもの	1.0 普通のもの		
外壁	規模	規模小なるもの 延坪当 1.4 面坪	1.15←	1.0 延坪 55坪程度のもの 延坪当 1.21 面坪	→0.7 延坪大なるもの 延坪当 0.85 面坪	評点上の注意 正面と他の部分を分けて評点する外壁標準評点=(正面の仕上による評点)×1.1+の部分の仕上による(他評点)×1.1
			二階面積	1.1← 二階面積小なるもの	1.0 2階11坪のもの	
内室	規模	規模小なるもの 建坪当 1.4 面坪	1.1←	1.0 建坪 15坪のもの 建坪 1.3 面坪	→0.9 規模大なるもの 建坪当 1.2 面坪	評点上の注意 腰仕上の異なる場合は腰仕上をまきとし他の仕上をまきとする
			間仕切壁	1.1← 規模小なるもの 建坪当 1.6 面坪	1.0 建坪 12.5坪のもの 建坪当 1.5面坪	
その他	二階状況及び規模	二階複雑で規模大なるもの	1.1←	1.0 延坪 27坪のもの 延坪当 1.8 面坪	→0.9 二階簡単で規模小なるもの	
			作業場内壁の有無		1.0 作業場内壁のあるもの	
天井			各室毎に坪数に標準評点を乗じて加算する			
その他			その他の部分の天井延坪当評点は次に示す算式により計算する (a) 作業場に天井のある場合			

井	その他		天井延坪当評点={作業場天井評点+二階(住宅部分)評点}×1/2 (b) 作業場に天井のない場合 天井延坪当評点=二階(住宅部分)評点×1/2			
床	脱衣室		各室毎に坪数に標準評点を乗じて加算する			
	その他		その他の部分の床延坪当評点は次に示す算式により計算する 床延坪当評点 {作業室床評点+二階(住宅部分)床評点}×1/2			
出窓	高さ		1.0 高さ4.5尺のもの	→0.7 高さ3.0尺のもの		
庇	軒出		1.0 2.0尺のもの	→0.8 1.5尺のもの		
樋	延長	1.4← 規模小なるもの 延坪当 0.95間	1.0 延坪 55坪のもの 延坪当 0.68間	→0.73 規模大なるもの 延坪当 0.49間		
建具	ガラス戸	欄間及び大きさ	1.1← 欄間のあるもの	1.0 3尺×5.7尺のもの	→0.9 3.0尺×4.5尺のもの	→0.7 3尺×3尺のもの
	板戸			3尺×5.7尺のものを標準とする		
	住宅部分	襖障子	2.0← 巾の広いもの	1.0 3尺×5.7尺のもの	→0.7 3尺×3尺のもの	
	雨戸	大きさ		1.0 3尺×5.7尺のもの	→0.9 3尺×4.5尺のもの	→0.7 3尺×3尺のもの

その他	番台	番台は個数当りとして程度によつて評点する		
	脱仕衣室切	高さ	1.1← 高さの高いもの	1.0 高さ6尺のもの
	浴仕場切	高さ	1.1← 高さの高いもの	1.0 高さ6尺のもの
	浴槽	浴槽は坪当計算をする		
	脱箱衣下箱駄	脱衣箱は個数当りとして程度によつて評点する		
他	煙突	高さ	1.0 高さ70尺	→0.8 高さの低いもの

14. (工場用建物)

部分別	種別	補正項目	補正係数の判定			備考
			最高限	標準	最低限	
基礎	布	規模	1.4← 規模小なるもの 建坪 50坪 建坪当 0.63間	1.0 建坪 100坪のもの 建坪当 布 0.45間 独立 0.04個	→0.65 規模大なるもの 建坪 300坪 建坪当 0.29間	地盤軟弱の場合 で抗打をしたも のは1.5倍まで を考慮する
		平面	1.2← 間口奥行比1:4のもの	1.0 間口奥行の比1:2のもの 矩形	→0.95 間口奥行比1:1のもの 正方形のもの	
	礎	断面	1.25← 地盤上の高さ1.5尺前後の もの 20尺×0.5尺	1.0 地盤上の高さ0.8尺~10尺 のもの 1.5尺×0.5尺	→0.85 地盤上の高さ0.5尺未満の もの 1.0尺×0.5尺	

土台	規模	1.4← 規模小なるもの建坪50坪 建坪当 0.63間	1.0 建坪100坪のもの 建坪当 0.45間	→0.65 規模大なるもの建坪300坪 建坪当 0.29間
	平面	1.2← 間口奥行比1:4のもの	1.0 間口奥行比1:2のもの 矩形	→0.95 間口奥行比1:1のもの 正方形のもの
	出入口状		1.0	→0.90 土台のない出入口多いもの
屋根	勾配		1.0 5寸勾配 切妻 建坪当 1.25 面坪	→0.9 3寸勾配 建坪当 1.10 面坪
	厚裏板	1.25← 種なく厚裏板8分板使用の もの	1.0	
小屋組	梁間		1.0 4間のもの	→0.75 3~2.5間のもの →0.6 2~1.5間のもの
	梁間隔		1.0 1間のもの	→0.67 1.5間のもの
	部材の太さ	1.1← 部材の太いもの	1.0 部材 陸梁 6×4寸 合掌 5×4寸 真束 6×4寸 方杖 4×4寸	→0.7 部材の細いもの
	勾配		1.0 5寸勾配	→0.75 3寸勾配
クレーンのある場合はクレーン受梁を間当計算により加算する				

工
場

壁 軸 組	規 模	1.4← 規模小なるもの建坪50坪 延坪当 0.63間	1.0 建坪 100坪のもの 延坪当 延長0.45間	→0.65 規模大なるもの建坪300坪 延坪当 0.29間	独立柱あるもの は1.1倍とする
	平 面	1.2← 間口奥行比1:4のもの	1.0 間口奥行比1:2のもの 矩形	→0.95 間口奥行比1:1のもの 正方形のもの	
	柱の長さ	1.1← 12尺のもの	1.0 10尺のもの		
	柱 間		1.0 1間のもの	→0.67 1.5間のもの	
外 壁	軒 高	1.2← 高さ15尺 柱12尺 軒先塗込のもの	1.0 軒高13尺 柱10尺軒先塗込	→0.85 高さ11尺 柱10尺 軒先塗込なし	
	規 模	1.2← 規模小なるもの建坪50坪 延坪当 0.78 面坪	1.0 建坪100坪のもの 延坪当 0.65 面坪	→0.7 規模大なるもの建坪300坪 延坪当 0.46 面坪	
	開 口 率	1.2← 開口率小 20%のもの	1.0 35%のもの	→0.75 開口率大 50%のもの	
	平 面	1.4← 間口奥行比1:4のもの	1.0 間口奥行比1:2のもの	→0.8 間口奥行比1:1のもの	
	二階部分	1.1← あるものはその部分	1.0		
内	壁 高	1.2← 13尺のもの	1.0 10尺のもの	→0.85 9尺のもの	
	規 模	1.2← 規模小なるもの 建坪 50坪 延坪当 1.9 面坪	1.0 建坪 100坪のもの 延坪当 1.6面坪	→0.7 規模大なるもの 建坪 300坪 延坪当 1.1 面坪	

(268)

壁	開 口 率	1.2← 開口率小 20%のもの	1.0 35%のもの	→0.75 開口率大 50%のもの	
	平 面	1.4← 間口奥行比1:4のもの	1.0 間口奥行比1:2のもの	→0.8 間口奥行比1:1のもの	
天井	勾 配		1.0 5寸勾配 仕上天井 建坪当 1.12面坪	→0.9 3寸勾配 建坪当一面坪	
床		評点上の注意 機械の基礎は他の部分と同一厚のコンクリート叩床あるものとして評点する			
窓	規 模	1.2← 規模小なるもの 50坪 延坪当 0.42 面坪	1.0 規模 100坪 延坪当 0.35 面坪	→0.7 規模大なるもの 300坪 延坪当 0.24 面坪	
	開 口 率	1.4← 開口率大 50%のもの	1.0 35%のもの	→0.6 開口率小なるもの 20%	
	平 面	1.4← 間口奥行比1:4のもの	1.0 間口奥行比1:2のもの	→0.8 間口奥行比1:1のもの	
	欄 間 の 有 無		1.0 欄間あるもの	→0.98 欄間のないもの	
出 入 口	大 小	1.1尺← 3尺×6尺のもの	1.0 6尺×7尺のもの	→0.6 12尺×12尺のもの	
		腰付引違戸欄間付 腰付両開き戸欄間付トタン張 防火開き戸は2本引 各吊戸 鉄製戸は一本引			
庇	延 長	1.05← 庇連続せぬもの 1間間隔に窓のあるもの	1.0 延長8間の連続庇		
樋	延 長	1.5← 樋多いもの 延坪当0.68間	1.0 延坪当 0.45間	→0.4 樋少ないもの 延坪当0.22間	

(269)

15. (倉庫用建物)

部分別	種別	補正項目	補正係数の判定			備考
			最高限	標準	最低限	
基礎	布	規模	2.0← 規模小なるもの 建坪30坪程度のもの 建坪当0.70間	1.0 建坪130坪(13×10間)の もの 建坪当布0.35間	→0.6 規模大なるもの 建坪500坪程度のもの 建坪当0.21間	軟弱地盤の場合 は1.3倍まで考 慮し特に抗打地 形を充分施した ものは1.5倍で まで考慮する
		平面形	1.4← 間口奥行の比率1:4のもの	1.0 間口奥行の比率1:1		
	礎	断面	1.5← 地盤上の高さ4尺のもの 布コンクリート5.0×0.6尺 大谷石5.0×1.0尺	1.0 地盤上の高さ2.0~2.5尺 のもの、布コンクリート 3.0尺×0.6尺 大谷石3.0尺×0.8尺 煉瓦1枚	→0.55 地盤上の高さ1.5尺以下の もの 布コンクリート2.0尺×0.5 尺 大谷石2.0尺×0.5尺	
土台	規	規模	2.0← 規模小なるもの 建坪30坪程度のもの 建坪当0.6間	1.0 建坪130坪(13×10間) 出入口土台のないもの 建坪当0.3間	→0.6 規模大なるもの 建坪500坪のもの	
		平面形	1.4← 間口奥行比1.4のもの	1.0 間口奥行比1:1のもの 正方形に近いもの		
台	出入口状況	1.15← 出入口にも土台あるもの	1.0 出入口に土台ないもの			
屋	勾配		1.0 5寸勾配、切妻 軒出1.5尺、妻軒出1.0尺 建坪当1.2面坪	→0.94 3寸勾配 建坪当1.13面坪		

(270)

根	裏厚板	1.25← 8分板使用のもの(種なし)	1.0 裏板正4分板のもの		
小屋	部材の太さ	1.1← 部材の太いもの	1.0 5寸勾配、切妻、部材陸梁 6.5×5.0寸のもの 合掌7.0×5.0寸のもの 真東8.0×5.0寸のもの 方杖5.0×3.5寸のもの 吊ボルト16耗	→0.7 組立梁等部材の細いもの	
		1.45← 10間もの	1.0 8間もの	→0.85 →0.65 6間もの 4間もの	
	1.23← 10間もの	1.0 1.5間もの	→0.9 2.0間もの		
		1.0 上記	→0.85 3寸勾配		
	1.6← →1.1 入母屋のもの 方形のもの	1.0 切妻			
壁	規	2.0← 規模小なるもの 建坪30坪程度 建坪当0.70間	1.0 建坪130坪(13×10間) 建坪当延長0.35間	→0.6 規模大なるもの 建坪500坪程度 建坪当0.21間	
		1.4← 間口奥行の比率1:4のもの	1.0 間口奥行の比率1:1のもの 正方形に近いもの		
	1.05← 24尺のもの	1.0 20尺のもの	→0.85 12尺のもの		
	1.15← →1.04 梁間隔6尺で添柱のあるもの 梁間隔6尺で添柱のないもの	1.0 梁間隔9尺のもの			
軸	柱高				
組	梁間隔				

(271)

倉庫	外壁	独立柱	あるもの 1.10←	ないもの 1.0		
		規模	2.0← 規模小なるもの 建坪30坪 建坪当 2.6面坪	1.0 建坪130坪 (13×10間) 建坪当 1.3面坪	→0.6 規模大なるもの建坪500坪 建坪当 0.8面坪	柱型を現わしたものは1.1倍とする
		平面形	1.4← 間口奥行の比1:4のもの	1.0 間口奥行の比1:1のもの 正方形のもの		
	壁高	1.2← 基礎上端より壁高 24尺のもの	1.0 軒高22尺、基礎上端より の壁高20尺のもの	→0.6 基礎上端よりの壁高 12尺のもの		
	内壁	規模	2.0← 規模小なるもの 建坪30坪 建坪当 1.6面坪	1.0 建坪130坪 (13×10間) 建坪当 0.78面坪	→0.6 規模大なるもの建坪500坪 建坪当 0.48面坪	
		平面形	1.4← 間口奥行の比1:4のもの	1.0 間口奥行の比1:1のもの 正方形のもの		
壁高		2.0← 1.7← 基礎上端よりの壁高24尺のもの 22尺のもの	1.0 基礎上端よりの内壁高 12尺のもの			
天井		打上天井は母屋下端に天井板を打上げたものを標準にし母屋の間に打上げたものは0.8倍とする 目貼を施したものは坪60を加算する				
床	床の高さ	床の高さ地盤上1.0尺以上のものは1.2倍とする。コンクリート叩床について、営業用の大倉庫の厚さは6寸、工場等に附属するものと経営倉庫の厚さは3寸、一般のもの厚さは4寸とする。				
窓		高さ2.5尺、巾6尺防盜難設備付のもの1個を標準にする。高さ巾について高大なるものは上記寸法より勘案し適宜倍数を決めて乗ずるものとする。				

(272)

出入口	大きさ	1.6← 小出入口のもの 8尺×6尺のもの2本引	1.0 高さ11尺、巾9尺、2本 引のもの	→0.7 大出入口のもの 12尺×15尺のもの2本引	面坪当計算
	形式		1.0 2本引のもの	→0.8 1本引のもの	
庇	庇出		1.0 庇出2.8尺長さ10尺のもの	→0.85 庇出2.0尺のもの	延長間当計算
樋	平面形及び規模	1.5← 細長い平面のもの 建坪当0.53間	1.0 建坪130のもの 建坪当0.35間	→0.5 規模大且つ正方形に近いもの 建坪当0.17間	

16. (土蔵)

部分別	種別	補正項目	補正係数の判定			備考
			最高限	標準	最低限	
基礎	布基礎	規模	1.4← 規模小なるもの3坪 (1.5×2間)のもの 建坪当 2.34間	1.0 規模6坪 (2×3間)のもの 基礎延長建坪当1.67間	→0.7 →0.5 規模大なるもの12.5坪 (2.5×5間)のもの 建坪当1.17間	1. 軟弱地盤のため杭打地形をしたものは1.3倍まで考慮する 2. 標準評点数には仕上は含まれてはず仕上は外壁として外壁の項で評点する
		断面	2.0← 地盤上の高さ6尺のもの 8尺×1.1尺	1.0 地盤上の高さ2.0尺前後のもの 3尺×0.7尺	→0.4 地盤上の高さ1.0尺前後のもの 1.5尺×0.6尺	
土台		延長	1.4← 規模小3坪 (1.5×2間)のもの 建坪当 2.1間	1.0 規模6坪 (2×3間)のもの 建坪当 1.5間	→0.7 →0.5 規模大12.5坪 (2.5×5間)のもの 建坪当1.05間	規模大24坪 (4×6間)のもの 建坪当0.75間

(273)

屋 根	規 模	1.1← 規模小3坪 (1.5×2間) のもの 建坪当 1.61 面坪	1.0 規模6坪切妻 軒出1.0尺 妻軒1.0尺 建坪当 1.46 面坪	0.9←→0.85 規模大12.5 24坪 (4×6 坪 (2.5×5 間)のもの 建坪当1.31 間	評点上の注意 上家(本屋々根の 上家)及び箱上家 (本屋の外に独立 柱を建てて上家を 架けたもの)は漆 喰仕上、中塗仕上 の上に架せられて いるため漆喰仕上 中塗仕上該当の屋 根は上家及び箱上 家のいづれかと組 合せて評点する。
	勾 配	1.01← 6 寸 勾 配	1.0 5 寸 勾 配		
小 屋 組	梁 間	1.03← 梁間1.5間のもの	1.0 梁間 梁間隔 規 模 5寸勾配	→0.92 梁間2.5間のもの	
	屋根形式	1.1← 方形のもの	1.0 切 妻		
壁 軸 組	規 模	1.4← 規模小3坪 (1.5×2間)の もの 建坪当 2.34 間	1.0 規模6坪 (2×3間)のもの 建坪当 1.67 間	0.7←→0.5 規模大12.5 24坪 (4×6 (2.5間×5 坪)のもの 建坪当0.84 間	
	柱 高	1.1← 二階家で柱高15尺のもの	1.0 柱間3尺柱高13尺のもの 平家のもの		
外 壁	規 模	1.25← 規模小のもの3坪 建坪当 6.0 面坪	1.0 規 模 6 坪 地盤上軒先までの外壁面積 建坪当 4.8 面坪	→0.7 規模大なるもの12.5坪 建坪当 3.4 面坪	評点上の注意 宇都宮方面等に多 くある壁体石造の ものでは外壁に土 台壁軸組が含まれ

	軒 高	1.2← 18尺のもの	1.0 15尺のもの		ているため土台壁 軸組は評点しな い
内 壁	規 模	1.4← 規模小なるもの3坪 建坪当 4.8 面坪	1.0 規 模 6 坪 建坪当 3.4 面坪	→0.6 規模大なるもの12.5坪 建坪当 2.05 面坪	
	壁 高	1.25← 15尺のもの	1.0 12尺~13尺のもの		
床					評点上の注意 1階2階に分けて 評点し加算する
窓	窓 面積	参考 2.0← 窓の多いもの 建坪当 3 平方尺	1.0 6 坪 9 平方尺 建坪当 1.5 平方尺	→0.7 窓の少ないもの 建坪当 1.0 平方尺	内戸、外戸、格 子に分けて評定 し、尺平方当評 点を夫々の使用 面積に乗じて評 点する
出入口	面 積	参考 3.0← 建坪当 9.6 平方尺	1.0 建坪当 3.2 平方尺	→0.6 建坪当 1.9 平方尺	直接に測つて面 積をとり尺平方 当評点を乗ずる
庇	延 長	4.0← 多いもの 建坪当 0.32 間	1.0 6 坪のもの 建坪当 0.08 間	→0.8 少ないもの 建坪当 0.065 間	庇の延長を測り 延長間当評点を 乗ずる
樋	延 長	1.2← 規模小なるもの 建坪当 1.9 間	1.0 6 坪のもの 建坪当 1.6 間	→0.9 規模大なるもの 建坪当 1.4 間	
蔵前下屋	間 口	1.05← 間口狭いもの2間	1.0 間口3間 軒高8尺 軒出2尺	→0.92 間口広いもの6間	
	奥 行	1.5← 0.5 間のもの	1.0 奥行1間のもの		
蔵階前段	階 段 数	3.0←→2.0 3段のもの 2段のもの	1.0 階段巾1間 蹴上7.5寸 踏面8寸 1段のもの		出入口の踏面は 階段数に入らな い